

中高生の生理悩みは「1」>

飯田の産婦人科相談窓口開設

飯田市本町の西沢産婦人科クリニックは、飯田下伊那地域の中学生や高校生の女子を対象に「生理のお悩み相談窓口」を開設した。生理痛や月経前症候群（PMS）で学校生活に支障が出るなど困りごとがあっても、周囲に相談しにくい人が多いと事務員が提案した。「中高生を対象にした相談窓口は飯田下伊那では初」といい、メールや電話で対応。気軽な相談を呼びかけている。

「困った時の心強い存在に」

提案したのはクリニックを運営する医療法人龍川会の事務長補佐・樋口祥子さん（32）。自身の中高生時代を「生理痛がしんどくても面と向かって話すのは恥ずかしさがあった」と振り返る。産婦人科は妊娠した人が行く所と思われがちだが「女子中高生が困った時に相談できる心強



中高生向けの生理の悩みの相談窓口を紹介する樋口さん（左）と佐々木さん



い存在になれたらいい」と話す。看護師の佐々木麻美さん（45）は日頃の業務を通じ、多くの中高生に生理前のだるさ

や頭痛、経血量の多さなどの悩みがあると感じており、「我慢したり、1人で抱えていたりする人も多いのではないかと。まず相談してもらえれば、適切な治療につなげることが出来る」と話した。

ホームページの問い合わせフォーム＝QRコード＝から問診票に記入して相談するか、平日午前9時～午後5時半、土曜午前9時～正午に

クリニック（☎0265・243800）に電話する。対応面の相談も可能。対応するのは女性の助産師や看護師で、生理痛や生理不順、PMS、妊娠など産婦人科に関わる悩み全般を受け付けている。相談は無料。パンフレットを中学や高校の養護教諭らに配布している。



校の養護教諭らに配布している。